

あいかわ 議会だより

第182号

令和6年7月15日発行

みやざわ
宮沢の清水

議会改革度
調査ランキング

町村の部**22位**

全国187位

～早稲田大学マニフェスト研究所調査～



- ・定額減税補足給付金給付事業に関する補正予算等を可決 P.2
- ・令和5年度政務活動費報告 P.10・11
- ・国へ意見書を提出 P.11
- ・第11回町民との意見交換会を実施 P.12

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP13をご覧ください



責任者 議会議長 井出 一巳
年4回発行

2024 愛川町議会

令和6年7月15日

令和6年第2回愛川町議会が、6月3日から14日まで、会期12日間（本会議開催日4日間）にわたって開催され、人事、条例、事件議案及び補正予算など、7件の町長提出議案、1件の議員提出議案を審議し、全議案を可決するとともに、陳情2件を審議しました。

人事議案

◎副町長の選任

（賛成全員）

引き続き、副町長に角田在住の沼田力氏を選任することについて同意したものです。



沼田 力 副町長

専決処分の承認
及び条例議案

◎愛川町国民健康保険税
条例の一部改正

（賛成全員）

補正予算

◎令和6年度愛川町一般
会計補正予算（第1号）

（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、

6月定例会



令和6年第2回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
6	3	月	本会議	陳情の委員会付託(2件) 出納検査結果報告(3件) 副町長の選任 専決処分の承認 損害賠償額の決定 町長提出議案の説明 継続費繰越計算書の報告 繰越明許費繰越計算書の報告 公共下水道事業会計 予算繰越計算書の報告 水道事業会計継続費 繰越計算書の報告 議員提出議案の説明、 質疑、討論、採決
			教育民生 常任委員会	所管事務調査
	5	水	本会議	一般質問(6人)
	6	木	本会議	一般質問(5人)
	10	月	総務建設 常任委員会	付託案件の審査、 所管事務調査
	14	金	本会議	町長提出議案の説明、 質疑、討論、採決 付託案件の審査結果 の委員長報告、質疑、 討論、採決

「地方税法施行令」の一部改正に伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額が引き上げられるとともに、低所得者の軽減措置の対象を拡大するため、5割軽減及び2割軽減の対象世帯にかかる軽減判定所得基準の見直しが行われたことから、所要の改正を行ったものです。

取得価格
4,766万2,792円
納入者
株式会社関東小池
納入期限
令和6年9月30日



◎消防ポンプ自動車購入

（賛成全員）

取得価格
5,555万円

納入者
日本機械工業株式会社

納入期限
令和7年3月31日

事件議案

■財産の取得について

◎防災資機材等購入

（賛成全員）

■工事請負契約の締結について

◎令和6年度平山下平線
第1工区改良工事

（賛成全員）

請負契約金額
9,021万1千円

請負契約の相手
佐藤建設株式会社

工期

本契約締結の日から
令和7年3月31日まで

■損害賠償額の決定

◎物損事故に係る損害賠償

（賛成全員）

角田地区の個人宅敷地内の浄化槽汚泥を収集するため、し尿収集車が町道から敷地内へバックにより進入しようとしたところ、同車両の右側後方

議員提出議案

◎政治資金規正法違反疑惑の真相解明及び再発防止を求める意見書の提出について（賛成全員）

国に対し、政治への信頼を取り戻すため、政治資金規正法違反疑惑の真相解明及び再発防止を行うよう強く要望するものです。

※意見書の詳細は11ページ

工事中の平山下平線
(令和6年3月)



■県道54号との接続交差点における、県及び警察との協議の状況について

工事請負契約の
締結について

6月14日の本会議では、補正予算・事件議案を対象に、小島議員、阿部議員、渡辺議員、茅孝之議員、小林議員の5名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

個人総括質疑

定額減税補足給付金
給付事業費

■事業費の詳細について

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業費

■事業費の詳細について

社会福祉総務費補正額

■3億339万6千円の
財源内訳について

財務会計オンライン
システム管理経費増額

■増額の詳細について

「マチイロ」
アプリの紹介

本町を含む各自自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ「マチイロ」でも「議会だよりあいかわ」をお届けしています。左記にある2次元コードから専用ページにリンクしますので、ぜひご活用ください。



令和6年 第2回定例会議決一覽表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第35号	副町長の選任について	同 意
町長提出 第36号	専決処分の承認について（愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	承 認
町長提出 第37号	令和6年度愛川町一般会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出 第38号	財産の取得について（防災資機材等購入）	可 決
町長提出 第39号	工事請負契約の締結について（令和6年度平山下平線第1工区改良工事）	可 決
町長提出 第40号	損害賠償額の決定について（物損事故に係る損害賠償）	可 決
町長提出 第41号	財産の取得について（消防ポンプ自動車購入）	可 決
議員提出 第3号	政治資金規正法違反疑惑の真相解明及び再発防止を求める意見書の提出について	可 決
陳 情 第5号	愛川町ゼロカーボンシティ宣言についての陳情	採 択

●意見が分かれた議案

陳情第3号は、委員長報告の「趣旨了承」に対する賛否です。

○…賛成、●…反対

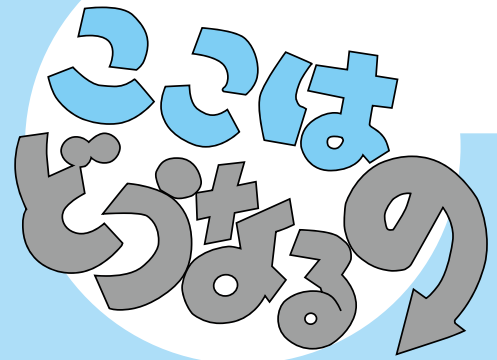
議案番号	議員名 議案等の件名	愛川の新時代					公明党		日本共産党 愛川町議員団			令和あいかわ			議決結果	
		渡辺基	山中正樹	花上功	熊坂健太郎	茅大夢	佐藤りえ	井出一己	岸上敦子	鈴木信一	井上博明	小林敬子	茅孝之	小島総一郎		阿部隆之
陳 情 第 3 号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	※	○	● (採)	● (択)	●	○	○	○	趣旨了承

※議長は裁決に加わりません。

●陳情（審査の結果机上配付となったもの）

番号	受理年月日	件 名	陳情者
4	R6.5.16	議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為の中止を求める陳情	横浜市旭区四季美台55-6 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める 神奈川県民の会 代表 出井 健三郎

一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧ください。
なお、6月定例会の会議録は、9月頃には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。

茅 孝之 議員 P.4

・フリースクールに対する支援について

阿部 隆之 議員 P.7

・ごみ処理基本計画の取組状況

花上 功 議員 P.5

・町老人福祉センター等の老朽化に伴う検討状況について ほか

小林 敬子 議員 P.8

・農業の新たな担い手づくりについて ほか

井上 博明 議員 P.5

・(仮)津久井農場計画について ほか

茅 大夢 議員 P.8

・道路行政について ほか

鈴木 信一 議員 P.6

・町職員の多忙化解消の取り組みについて ほか

渡辺 基 議員 P.9

・自治会の今後の在り方について ほか

佐藤 りえ 議員 P.6

・更なる防災対策について ほか

熊坂 健太郎 議員 P.9

・農業政策について ほか

岸上 敦子 議員 P.7

・高齢者福祉の充実について ほか



©愛川町

教育相談者等と連携関係者招き情報交換
教育長 町ホームページで情報提供を行っているほかに、教育相談担当者が集まる会議にフリースクール関係者をお招きして情報交換を図っています。

問 町でも不登校の児童生徒の割合が増えているため、フリースクールなどと連携し、当事者やその保護者を支援していく必要があると考えます。そこで、フリースクールに対する支援について町の考えを伺います。

不登校の児童生徒
当事者や親の支援



かや 茅 孝之 議員



フリースクール『あめつちのいえ』の野外活動風景

問 川北地区にあるフリースクール「あめつちのいえ」では、校舎での自由遊びや外出活動を中心に、学校外での社会的居場所づくりと仲間意識を感じられるサポートをしています。フリースクールの運営を継続していくためにも利用者が安定して増えて行かなければならないと考えますが、不登校児童生徒の保護者にフリースクールについて周知する機会を作れるか伺います。

町ホームページで「学校が苦手な小中学生児童生徒・保護者の方へ」というページを開設し、関係機関の相談窓口等の紹介などに努めています。さらに、不登校児童生徒の保護者向け相談会においても、支援機関を紹介する機会を設けたいと考えています。

町ホームページ
支援機関を紹介

フリースクールの周知

可決議案の内容等

個人総括質疑・陳情
会派議決一覧・陳情

一般質問

政務活動費・意見書の提出

意見交換会

研修・議会クイズ・お知らせ

町長 老人福祉センターの今後の在り方については、引き続き、現在の施設の効率的な運用と合わせて、利用者皆さんのご意見などもお聞きしながら、慎重に検討を重ねていきたいと考えています。

施設の効率的な運用 慎重に検討を重ねる

問 町老人福祉センターは、施設の老朽化に伴い、民間を含めた他の施設への機能移転などを進める必要があると考えますが、現在の検討状況について伺います。

老人福祉センター 機能移転等の考え



はなうえ いさお
花上 功 議員

観光・産業連携拠点づくり事業 これまでの経緯と今後の方向性

問 観光・産業連携 拠点づくり事業は、 横須賀市より半原水源 地跡地を購入してから 現在まで、基本計画の 見直しを図ってきた経 緯があります。

そこで、これまでの見直しの経緯と、今後の方向性について伺います。

基本計画をベースに 社会情勢見据え整備

町長 平成29年度に基本計画を策定し、平成30年度と令和元年度にその見直しを行っています。変化の著しい社会情勢の中で、現行の基本計画をベースに、昨今の社会情勢や人の流れを見据えつつ、官民連携のもと、より良い施設計画と整備手法を見出していきたいと考えています。



現在の半原水源跡地

津久井農場計画 県による意見聴取



いのうえ ひろあき
井上 博明 議員

問 津久井農場計画について、県による関係市町村長への意見聴取が行われますが、その対応について伺います。

盛土危険性申入れ より一層連携強化

町長 川北地区の桜沢周辺が規制区域に指定されるよう、県が行う意見聴取の際には、当該計画の盛土の危険性をしっかりと申し入れるとともに、相模原市に対しても、本町の対応状況を伝えるなど、より一層、連携強化した取り組みを行っていききたいと考えています。

役場本庁舎の耐震化について

問 災害に強い町づくりを目指し、役 場庁舎の耐震化につい て、今、検討を進める 考えについて伺います。

町長 将来を見据えた役場庁舎の在り方の検討には、相当の期間を要することから、個別施設計画の第1期に記載がなく

庁舎建て替えへ 順次検討を進める

町長 将来を見据えた役場庁舎の在り方の検討には、相当の期間を要することから、個別施設計画の第1期に記載がなく

町長 将来を見据えた役場庁舎の在り方の検討には、相当の期間を要することから、個別施設計画の第1期に記載がなく



川北住民による同計画に
反対の意思を表明する啓発看板

も、必要に応じた検討をしたいと考えています。

引き続き、公共施設整備基金への積み立てや、必要とする修繕等を行いながら、庁舎建て替えに関する他の自治体の事例調査を行い、課題の整理や基本的な考え方の取りまとめなど、順次、検討を進めていきたいと考えています。

【その他の質問項目】
防災対策について

**町職員の多忙化
解消の取り組み**



議員 鈴木 信一

問 町職員の多忙化
解消の取り組みに
ついて伺います。

職員数7名増員 人材育成に努力

町長 各部署における所
掌事務や業務量を捉えな
がら職員の適正配置に努
めたほか、感染症対策な
ど行政が担う役割が増加
していることから、令和3
年度と比較して職員数を
7名増員しました。

さらに、総務課から秘
書・広報機能を分割し、
職員研修の充実など、総
合的な人材育成施策の実
践に努めます。



中津南保育園

保留児童解消に向けた取り組み

問 待機児童及び保
留児童解消に向け
た町の取り組みの成果
と課題について伺いま
す。

町長 本町では、これま
で町立保育園の園児受け
入れ枠の拡大をはじめ、
愛川幼稚園及び中津幼稚
園の認定こども園への移
行や3歳児未満を入所対
象とした小規模保育施設
3園の開設など、官民連
携による様々な取り組み
の結果、待機児童及び保
留児童数は年々減少し、
成果が表れていると考え
ています。

一方で、保留児童数は
低年齢児に多い状況があ
ることから、民間保育施
設に低年齢児の受け入れ
枠や一時預かり事業の拡
大を働き掛けるとともに、
認定こども園への移行を
希望する幼稚園を支援す
るなど、引き続き、保留
児童の解消に向け、官民
連携の中で鋭意取り組み
ます。

受け入れ枠の拡大 子ども園移行支援

地区防災計画 進捗の状況



議員 佐藤 りえ

問 「地区防災計
画」の進捗状況に
ついて伺います。

策定には至らず 手引き示す等支援

町長 国が示す「地区防
災計画ガイドライン」や
県の「応急活動事前対策
マニュアル」を各地域に
提示し計画策定に向けた
支援に努めています。が、
策定に至っていません。

今後は、これまでの活
動経験や地域特性を再確
認していただき、各地域
に見合った実効性のある
計画ができるよう、分か
りやすい手引きを示す等
支援を続けていきます。

おたふくかぜワクチン助成

問 おたふくかぜは、
感染力は比較的高
いが治療法は対症療法
のみで、無菌性髄膜炎
等の合併症を併発した
場合には入院加療を行
う場合が多いとされてい
ます。

そこで、おたふくかぜ
ワクチンの任意接種を助
成する考えについて伺い
ます。

におたふくかぜワクチン
を含む混合ワクチンの選
択が可能でしたが、ワク
チン接種後の健康被害が
生じたことから、平成5
年にこのワクチンの定期
接種が中止され、その後
は任意接種となっていま
す。

現在も引き続き、国の
厚生科学審議会でワクチ
ンの安全性や費用対効果
について協議が進められ
ており、国の動向を注視
していくことが肝要と考
えます。

安全性の協議進行中 国の動向注視が肝要

町長 平成元年には、麻
疹ワクチンの定期接種時



町長 令和6年度の事業で、現在の高齢介護課フロアをゆとりのあるプライバシーに配慮したレイアウトに変更することを計画しています。

その改修の中で、窓口の環境改善のひとつとして、軟骨伝導イヤホンの設置を検討に加えています。

プライバシー配慮 検討に加えている

問 本町の高齢者窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入する考えについて伺います。

軟骨伝導イヤホン 高齢者窓口を導入



あつこ 議員



あつこ 議員

こども家庭センターの設置

問 全ての妊産婦や子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関として「こども家庭センター」の設置が努力義務とされました。こども家庭センターの設置に対する、本町の考えについて伺います。

現状の支援体制継続 総合的な見直し必要

町長 健康プラザ内で開設している子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点では、関係機関を含めた緊密な



子育てに関する相談窓口
(健康プラザ)

連携のもと支援が図られており、それぞれの役割と連携はスムーズに働いているものと認識しています。

今後、現状の支援体制を継続しながら、妊娠から出産、子育てと切れ目のない支援に努め、こども家庭センターの必要性が見込まれるときには、組織体制を含め、総合的な見直しをしていく必要があると考えています。

【その他の質問項目】
LINE公式アカウントの充実について

「第3次愛川町一般廃棄物処理基本計画」 循環型地域社会 3Rの推進状況



あべ 議員



問 3Rの推進を図り、最終的には5Rが達成できて、初めて循環型の地域社会が築けると考えます。分別収集計画の計画策定の意義に掲げられた、3Rの推進状況について伺います。

資源の最大限活用 民間事業者と連携

町長 持続可能な社会を維持していくため、より一層の資源循環が求められることから、限られた資源を最大限に活用できるように、引き続き、3Rの推進の周知啓発に努め

るとともに、民間事業者とも連携しながら、取り組みを進めていきたいと考えています。

「第3次愛川町一般廃棄物処理基本計画」 ごみ処理基本計画の取組状況

問 第3次愛川町一般廃棄物処理基本計画、ごみ処理基本計画に掲げられた課題と取り組み状況について伺います。

意識啓発等に努める ごみ排出量目標達成

町長 家庭から排出されるごみのごみ質分析調査の結果を町広報紙やホームページに掲載し、燃やすごみに含まれる資源の割合など、減量化や分別

に対する意識啓発に努めたほか、「食品ロス」を削減するフードドライブや、生ごみ処理容器の購入に対する補助などを行ってききました。



建設中のごみ中間処理施設
(厚木市金田)

- ※1 3Rとは：「リデュース(ごみ削減)」「リユース(再利用)」「リサイクル(再資源化)」の3つの「R」を指す略語。
- ※2 5Rとは：3Rに「リフューズ(断る)」「リペア(修理)」の2つの「R」を加えたもの。

**町民活動サポセン
17年の成果と課題**



こばやし けいこ 議員
顧問席

問 平成19年に設立された町民活動サポートセンターについて、これまでの成果と課題について伺います。

134団体まで増加 高齢化や後継者不足

町長 町民活動サポートセンターには、公益活動を促進するための様々な業務を担っていただいております。登録団体数は開設当初の64団体から134団体まで増加するなど、公益活動のすそ野が広がっています。

一方で、高齢化や後継者不足により活動の休止や縮小を余儀なくされる



団体も増えつつあることから、既存団体に必要な支援を行うとともに、新

たな団体の発掘にも努めていきます。

「教育機会確保法」 学びの場の拡充が必要

問 子どもの学ぶ権利を保障するためには、学校内外における居場所や学びの場の拡充が必要ですが、町の考えを伺います。

情報提供に努める きめ細やかに対応

教育長 不登校児童生徒の保護者に対し、支援機関などの情報提供に努めるとともに、不登校児童生徒が個々の状況に応じて安心して教育を受けることができるよう、学校における相談体制につ

て、組織的にきめ細やかに対応してまいります。教育開発センター所長 本町では、ホームページで「学校が苦手な小中学生児童生徒・保護者の方へ」というページを開設し、関係機関の相談窓口等の紹介などに努めています。

また、令和6年度も相談指導教室の専任教諭とスクールカウンセラーによる保護者向け相談会を実施しています。

【その他の質問項目】
農業の新たな担い手づくりについて

**狭隘道路の現状
解消への取組み**



かや ひろむ 議員
茅 大夢

問 狭隘道路の現状と、その解消に向けた今後の取り組みについて伺います。

全体の約38% 改良に向け整備

町長 狭隘道路は、町道路線のうち、全体の約38%です。狭隘道路の改良に向け、関係地権者のご協力をいただき、順次整備をしています。

これには、地権者の承諾が前提ですが、ご理解をいただけるまでに多くの時間を要します。粘り強く、前向きな取り組みを進めていきます。



整備された町並み
(写真はイメージです)

デジタル化へ今後の取り組み

問 令和6年度の機構改革によりデジタル推進課が新設されました。デジタル化へ向けた今後の取り組みについて伺います。

国の重点取組事項 「書かない窓口」研究

町長 児童生徒1人1台のタブレット端末の整備、「引越越しワンストップサービス」システムの導入、各種証明書の発行や

町税などの納付へのキャッシュレス決済の導入など、行政のデジタル化による業務の効率化や町民の利便性向上に向けた取り組みを進めてきました。今後は、国の「自治体DX推進計画」の重点取組事項である「フロントヤード改革の推進」のため、来庁者が申請書への記入を行わずに手続きが可能となる、いわゆる「書かない窓口」の実現に向けた研究を進めます。

町長 各行政区では、区長さんをはじめ役員の皆さんを中心に、主体的に活動していただいております。様々な苦勞をされていることは承知しています。そうした中、本町としては、他の先進事例に関する情報提供や時勢に沿った支援策の検討を行うなど、引き続き区長会と一

先進事例の情報提供 活性化へ支援策検討

問 現在、自治会の加入率が激減しています。そこで、抜本的な自治会の見直しについて伺います。

自治会加入激減 抜本的な見直し



わたなべ もと
渡辺 基 議員



緒になって地域コミュニティの活性化に向けて取

り組んでいきたいと考えています。

防災力強化3箇年計画を策定

問 令和6年度は、(仮称)愛川町防災

力強化3箇年計画を策定するとしています。

そこで、3倍に増やす備蓄品の保管方法について伺います。

施設管理者と協議 保管場所を確保

町長 令和6年度は、これまでの想定避難者数4千人の1日分1万2千食から3倍の3日分3万6千食に増強し、その保管場所についても、指定避難所の施設管理者と協議のうえ、新たな保管場所を確保したところです。



保管されている防災備蓄品

新規就農者の確保 様々な取組を促進

町長 新規就農者の確保や担い手の支援をはじめ、ビジネスとしての農業の普及促進、環境に配慮した農業経営力の向上、さらには地域と農業の連携を推進するなど、様々な取り組みを促進していきたいと考えています。

厳しさ増す状況 今後の農業政策



くまさか けんたろう
熊坂 健太郎 議員



問 本町でも農業を取り巻く環境は厳しさを増している状況となっています。

そこで、今後の農業政策について伺います。

愛川ブランドの取組と今後

問 愛川ブランドのこれまでの取り組みと今後の考えについて伺います。

積極的な活動を展開 第3期の認定を予定

町長 愛川ブランドは、町内外におけるイベントでの販売やPR活動をはじめ、ふるさと納税の返礼品としての活用のほか、パンフレット配布、イン

スタグラムをはじめとする各種SNSでのPRなど、様々な機会や媒体を活用した積極的な活動を展開してきました。

令和7年度には、第3期の認定を行う予定であり、事業者の意見も伺いながら、ブランドを盛り上げていくことで、さらなる本町の知名度アップや観光振興、地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。



愛川ブランド パンフレット

令和5年度 政務活動費収支報告

政務活動費は、条例に基づき、申請のあった会派及び会派に属さない議員に対して、調査研究に必要な経費の一部として、議員1人あたり月額1万円(年額12万円)が交付されます。なお、残額が生じた場合には町へ返金し、交付額を超えた分の支出は自己負担しています。また、令和5年度は10月に町議会議員の改選があったことから、前期(4月～10月)と後期(11月～3月)に分けて活動費の収支をまとめています。

なお、それぞれの活動報告書については、議会事務局で閲覧できます。

令和5年度前期(4月～10月)政務活動報告

(単位:円)

会派名等	所属議員数	調査研究費	研修費	広報・広聴費	資料作成費	資料購入費	事務費	支出合計	収入額	収支差額 (▲不足額)
		行政視察等に要する経費	研修会等参加に要する経費	広報・広聴活動に要する経費	活動に必要な資料を作成するために要する経費	図書・資料の購入に要する経費	活動に係る事務の遂行に要する経費		所属議員1人あたり7万円	
公明党	3人	10,570	43,809	0	0	16,500	690	71,569	210,000	138,431
日本共産党 愛川町議員団	3人	9,000	0	395,261	0	6,090	6,460	416,811	210,000	▲206,811
令和あいかわ	3人	9,000	0	0	0	0	280	9,280	210,000	200,720
あすかみらい	3人	350,587	0	0	0	0	4,150	354,737	210,000	▲144,737
渡辺 基 議員	1人	3,000	30,000	9,972	0	0	0	42,972	70,000	27,028
玉利 優 議員	1人	0	25,000	0	0	0	2,120	27,120	70,000	42,880

※佐藤 茂 議員(無会派)は、政務活動費の交付を受けていません。

会派名等	視察・研修等	視察・研修内容
公明党	第62回市町村議会議員研修会(オンライン)	①「自治体をめぐる状況と自治体政策の焦点、統一地方選挙結果を踏まえて」について ②「全世代型社会保障構築政策と地域医療構造の再編」について ③「全世代型社会保障と介護保険制度改革－介護保険制度をめぐる動向と今後の課題」について
あすかみらい	北海道美瑛町	①持続可能な観光目的地実現条例について ②農福連携事業について
	北海道士幌町	移動式期日前投票所の取り組みについて
	北海道鹿追町	バイオガスプラントの概要や運営等について
玉利 優 議員	日本公共政策研究センターセミナー(東京国際フォーラム)	「稼ぐ自治体－知恵を絞る経営－」について

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

TEL 046・285・2111
(内線3792)

第31回議会クイズの答えと当選者の正解と当選者は次のとおりです。

〈正解〉
問1 ③ 角田大橋
問2 ② 265億
問3 ① 異常気象と防災

8千円
2,283万

〈当選者〉
小島 豊子 様
黒川 陽一 様
小島 悦子 様
以上3名

令和5年度後期(11月～3月)政務活動報告

(単位:円)

会派名	所属議員数	調査研究費 行政視察等に要する経費	研修費 研修会等参加に要する経費	広報・広聴費 広報・広聴活動に要する経費	資料作成費 活動に必要な資料を作成するために要する経費	資料購入費 図書・資料の購入に要する経費	事務費 活動に係る事務の遂行に要する経費	支出合計	収入額 所属議員1人あたり5万円	収支差額 (▲不足額)
愛川の新時代	5人	131,648	93,932	9,880	0	11,379	11,375	258,214	250,000	▲ 8,214
公明党	3人	10,388	132,990	4,582	0	20,570	1,850	170,380	150,000	▲ 20,380
日本共産党 愛川町議員団	3人	0	0	206,940	0	0	7,150	214,090	150,000	▲ 64,090
令和あいかわ	3人	88,771	0	64,900	0	0	190	153,861	150,000	▲ 3,861

会派名	視察等	視察・研修内容
愛川の新時代	神奈川県松田町	AIオンデマンドバス「のるーと足柄」の概要等について
	市町村議会議員特別セミナー (千葉県千葉市)	①「デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～『全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会』を目指して～」について ②「デジタルで新しい行政のカタチを実現ー大切なアナログのための適切なデジタルー」について ③「稼ぐ観光政策ー市町村における観光政策の落とし穴ー」について ④「自治体×アナウンサーで創る地方が主役の未来」について
	栃木県上三川町	高齢者福祉の充実(デマンド交通事業)について
	栃木県壬生町	①医療環境の充実について ②公共交通の充実について
公明党	市町村議会議員研修(滋賀県大津市)	第2回「防災と議員の役割」について
	神奈川県松田町	AIオンデマンドバス「のるーと足柄」の概要等について
	廣瀬行政研究所(オンライン)	①「議会運営マスター講座」について ②「自治体の防災・減災対策と議会の役割」について
	地方議会研究会(オンライン)	①「知っておきたい子ども子育て政策」について ②「知っておきたい公共施設マネジメント」について
	地方議会セミナー(オンライン)	①「自治体でもっとSDGsに取り組もう!ー尼崎市の事例から」について ②「時代の変化に対応した教育を考えるー尼崎市の事例から」について
令和あいかわ	INN THE PARK沼津(静岡県沼津市)	公民連携の概要等について
	御殿場高原 時之栖(静岡県御殿場市)	①観光客を呼びよせるための戦略術について ②インバウンド効果のまちづくりについて
	静岡県農林技術研究所 伊豆農業研究センター(静岡県伊豆市)	①わさびの栽培や歴史について ②わさびの販路拡大やPRについて
	道の駅天城越え(静岡県伊豆市)	実際のわさび販路の現状について

議員提出議案

国へ意見書を提出

※意見書の内容は一部抜粋して掲載

詳細はこちら



◎政治資金規正法違反疑惑の真相解明及び再発防止を求める意見書の提出 (賛成全員)

政治資金規正法違反疑惑の真相解明及び再発防止を求める意見書

政治資金パーティー収入を巡る政治団体の政治資金収支報告書への不記載問題について、連日報道され国民の間に政治に対する不信感が広がっている。

昨今、インフレ・円安に伴う物価高騰による国民生活への打撃、人口減少・少子高齢化の加速等により、国民が我が国の未来に不安や危機感を抱いており、政治による早急な対応が求められ、国民の政治への信頼を取り戻すことは急務である。

よって、国におかれては、政治資金規正法違反疑惑の真相解明及び再発防止を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年6月3日

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、内閣官房長官 殿

第11回町民との意見交換会を開催

日時：5月11日(土)午後1時30分から3時まで

場所：愛川町文化会館 3階大会議室

当日は、21名の方にご参加いただき、貴重なご意見・ご提言をいただきました。

なお、いただいたご意見・ご提言は、議会にて精査し、町へ報告いたします。



当日の様子

今回、町議会による各委員会の活動内容等について透明性を高めるべく、総務建設、教育民生、広報広聴の各常任委員会より活動報告を行いました。

各常任委員会の
活動報告を行いました

例年、夜間に開催している「町民との意見交換会」について、今年は、町民の皆さまから多様なご意見やご提言をいただくために、開催の時間帯を変更し、土曜日の昼に
対面による意見交換を実施しました。

今年は土曜日の昼中に
意見交換会を開催！

町民による様々な提言

当日はたくさんのご意見等をいただきました。その内容の一部を紹介いたします。

自治会加入率が非常に低くなっており、役員の担い手不足が深刻化しています。特に災害時において民生委員だけでは対応できません。町も行政区の在り方について、より関与してください。	町は防災士の資格取得への助成を行っていますが、その成果が見えてこないため、その助成制度を無駄にしない仕組みを考えてください。
防災士も大切ですが、セーフティリーダーも忘れないでください。	町内の河川には非常にごみが多いため、河原の利用を有料化するなど、対策を講じてください。
愛川町の不登校の子どもの実態や、その保護者の実態に関する集計を公表してください。	地域脱炭素を推進してください。

● その他 議員・議会への質問等 ●

質問事項等

定例会の一般質問について、議員全員が質問できるような仕組み作りをしていただきたいです。

自治会の加入率や、地域防災に係る問題は、町が多文化共生のまちづくりを推進し、外国籍住民の割合が高くなってきていることにも原因があると考えます。議会は、町が推進する多文化共生のまちづくりに賛同していますか。

当日の回答

町議会では「正副議長及び監査委員は一般質問を行わない」という考え方が不文律でありましたが、現在、その考え方の見直しについて議論を行っています。

外国籍の方が非常に多いということは議会としても認識しており、その方たちと一緒に、円滑な生活ができるように対応していく必要があると考えています。

貴重なご意見・ご提言をいただきありがとうございました



紙面の都合で、すべてのご意見を紹介することはできませんが、このほかにも時間が足りない等のご意見・ご提言をいただきましたので、今後の運営方法等について再度検討していきます。
なお、意見交換会の詳細は、町ホームページに掲載しております。



町ホームページ

新議員研修会

日時 令和6年5月8日
場所 神奈川自治会館
出席議員

・茅 大夢 議員
・花上 功 議員
・熊坂健太郎 議員

内容

「議会運営の基本」

講師 県町村議会議長会
事務局 参事 沼田 卓氏

委員長・副委員長・事務局長研修会

日時 令和6年5月17日

場所 神奈川自治会館

出席議員

・佐藤 りえ 議員
・渡辺 基 議員
・井上 博明 議員
・小島総一郎 議員
・岸上 敦子 議員
・小林 敬子 議員
・鈴木 信一 議員
・熊坂健太郎 議員

内容

「日本の政治について」

講師 読売新聞特別編集
委員 橋本五郎氏

令和6年度町村議会 議長・副議長研修会

日時 令和6年5月21日
場所 東京国際フォーラム
出席議員

・井出 一己 議長
・山中 正樹 副議長

内容

「町村議会議員のなり手
不足対策検討会報告書」

講師 大正大学社会共生
学部教授

江藤 俊昭氏
ほか

町議会基本条例 研修会

日時 令和6年5月24日
場所 町役場2階
大会議室

出席議員

町議会議員

内容

「愛川町議会基本条例
について」

講師 町議会議員

山中正樹氏

第32回 議会クイズ



問1 表紙の写真の、仏果山から流れ出る沢の名前はなんですか？
①丹沢 ②深堀沢 ③宮沢

問2 6月定例会において可決され、購入する消防ポンプ自動車の購入価格は？
①555万5千円 ②5,555万円 ③5億5,555万円

問3 5月11日に開催された意見交換会の参加人数は何名でしょうか？
①10名 ②15名 ③21名

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

☆正解と当選者は次号で発表します。

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。

《しめきり》 7月31日（水）（郵送の場合は当日消印有効）

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392
角田251-1 議会事務局

●ファクスの場合 046-286-5021

●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインの場合
右記の2次元コードを
活用して、応募ができます。



令和6年第3回9月定例会日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	1
				本会議 (提出議案の説明)		
2	3	4	5	6	7	8
本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			本会議 (個人総括質疑・討論・採決)		
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 (会派代表総括質疑)			総務建設 常任委員会		
16	17	18	19	20	21	22
敬老の日	教育民生 常任委員会	総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会			
23	24	25	26	27	28	29
秋分の日		本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)				

次回9月定例会の日程は左表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、8月21日に開催する予定です。
日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。
い。
なお、町ホームページでも次回定例会の日程をご覧になれます。

次回定例会のお知らせ

あいかわ・ほっこり写真館

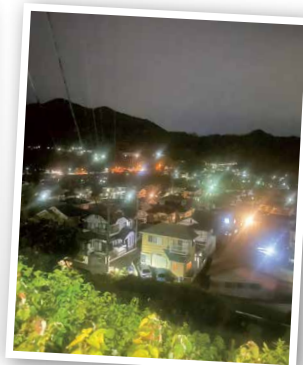
夏も本番を迎え、輝く太陽が眩しい季節となりました。
今号でも、各委員が町内を巡り、愛川町の新しい魅力やほっこりを
写真に収めてきましたので、ご覧ください。
また、議会クイズにもぜひご応募いただき、写真の感想もお寄せいただければ幸いです。



あったかい釜めし
塩おにぎり食べてえなあ



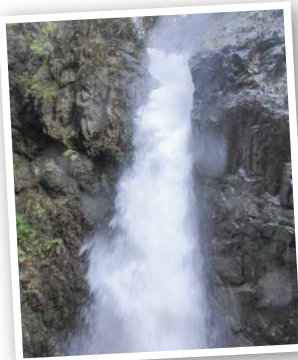
尾山のお休み処



夜の宮本区



つつじまつりへのお客様



滝つぼに 轟音響かせ
舞うしづき



この道の奥には何があるのだろうか？



河原でキャンプやりたいですね～



仲良しニャン

◎議会クイズは13ページに掲載しています。

議会だよりあいかわ第183号は、令和6年11月15日発行・配布予定です。

委員 小林 敬子
委員 阿部 隆之
委員 佐藤 りえ
委員 岸上 敦子
委員 花上 功
委員 茅 孝之
副委員長 熊坂健太郎
委員長 鈴木 信一
広報広聴常任委員会

前号の議会クイズは過去最多の47人の応募があり、好評です。今後も議会を身近に感じていただけるような議会だよりを作るために努力してまいります。

6月定例会では、沼田力副町長を再任した他、国による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した定額減税補足給付金事業に関する補正予算等を可決しました。また、政治資金規正法違反疑惑に関する意見書の提出や、愛川町ゼロカーボンシティ宣言を求める陳情を採択し町に提出するなど、議会の役割を発揮することができました。

編集後記